

再評価結果(平成20年度事業継続箇所)

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 一般国道460号 <small>まきみなみ</small> 巻南バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 新潟市	
起終点 自：新潟県新潟市西蒲区河井 至：新潟県新潟市西蒲区五ヶ浜		延長	9.8km
事業概要 一般国道460号は、新潟県新発田市を起点とし、新潟県柏崎市に至る約58kmの幹線道路である。 巻南バイパスは、幅員狭小区間を解消による円滑な交通を促進し、災害発生など緊急時における安全性を確保を目的とする延長約9.8kmの2車線道路である。			
S49年度事業化 (都市計画決定なし)		S49年度用地着手	
S49年度工事着手			
全体事業費	85億円	事業進捗率	71%
計画交通量	8,500台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.3	総費用 (残事業/事業全体) 24/164億円 事業費：20/154億円 維持管理費：4/10億円	総便益 (残事業/事業全体) 236/370億円 走行時間短縮便益：209/319億円 走行経費減少便益：15/32億円 交通事故減少便益：11/18億円
	(残事業) 10.0		基準年 平成19年
感度分析の結果	交通量変動：B/C=11.4(交通量+10%) B/C=9.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=9.5(事業費+10%) B/C=11.2(事業費-10%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保・・・現道の年間渋滞損失時間の削減。 ・個性ある地域の形成・・・主要な観光地へのアクセス向上が期待される。 その他11項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 関係する市(新発田市、阿賀野市)は「国道460号整備期成同盟会」を組織し、整備促進に関する活動を行っている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・県道から国道に昇格(H5年度)。 ・新潟県広域道路整備基本計画(H10年度)において、交流促進型の広域道路への位置づけ。 ・一般国道116号巻バイパスが全供用(H18年度)。 ・平成19年4月1日新潟市政令市移行に伴い事業主体変更(新潟県→新潟市)。 ・平成21年秋にトキめき新潟国体開催予定。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 5.9kmを部分供用済み。残事業は3.9km。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 福井地区は用地補償交渉難航、遺跡調査(今後)必要などが理由。赤舘地区については現在重点的に取り組んでおりH21年秋国体までの供用を目指す。全供用はH20年代後半を予定。			
施設の構造や工法の変更等 西川及びJR等を高架橋(L=250m)により立体交差する計画から西川のみ渡河する橋梁(L=27m)へ計画変更。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 事業の必要性や事業の進捗の見込みの視点から、継続が妥当であると判断した。			
事業概要図			
 <p>新潟県 当該箇所</p>	 <p>五ヶ浜水浴場、角浜水浴場、日本海、城山運動公園(H21トキめき新潟国体ホッケー会場)、福井地区、巻市街地、赤舘地区、西蒲区、岩室温泉、新潟市中央区、新潟市秋葉区、巻湯東LC、長岡市、大通川、飛騨川、JR線、新潟自動車道、国道116号、国道460号巻南バイパス L=9.8km</p> <p>凡例 〰 供用中 〰 再評価箇所 〰 うち供用中</p>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。